

授業科目	応用日本語				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO12004J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2			
担当教員	須藤 秀夫							
授業概要	書籍、新聞、雑誌を読んだり、語ったりすることを通して、日本語の四技能(読む、書く、話す、聞く)を磨き、また、論理的思考をも向上させる。							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・上級レベルの日本語の四技能を身につける。そして日本語での各授業の理解力を高める。 ・日本語で論理的に考える力を身に着ける。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	30	25	25	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	20	15	15				50	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5	5	5			10	25	
思考・判断 (DP2-2)	5	5	5			10	25	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
習得した日本語を使って、少し高度な読む、書く、聞く、話すことができる。				習得した日本語を使って、基本的な読む、書く、聞く、話すことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション			講義・演習				

2	日本語の書籍・新聞・雑誌を読む。 社会・文化について 1	講義・演習		
3	日本語の書籍・新聞・雑誌を読む。 社会・文化について 2	講義・演習		
4	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 社会・文化について 3	講義・演習		
5	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 日本の地理、歴史 1	講義・演習		
6	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 日本の地理、歴史 2	講義・演習		
7	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 経済 1	講義・演習		
8	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 経済 2	講義・演習		
9	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 経済 3	講義・演習		
10	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 ビジネス 1	講義・演習		
11	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 ビジネス 2	講義・演習		
12	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 ビジネス 3	講義・演習		
13	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 国際情勢 1	講義・演習		
14	日本語の書籍、新聞、雑誌を読む。 国際情勢 2	講義・演習		
15	まとめ	講義・演習		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	一定レベルの日本語語彙、文法知識、および読解・聴解能力。			
テキスト	適宜プリントを配ります。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本語の辞書。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	毎日、少しでも日本語の文章を読むようにしてください。音読もしてください。			
達成度評価に関するコメント	レポートの内容については、授業中に伝えます。			